



TITLE:

地球に衝突した隕石の跡

AUTHOR(S):

CITATION:

地球に衝突した隕石の跡. 天界 1933, 13(145): 173-173

ISSUE DATE:

1933-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162353>

RIGHT:

地球に衝突した隕石の跡

今までに知られてゐる有名な大隕石坑は下の9個所である。

〔1〕 米國 Arizona 州の中北部 Canyon Diablo 停車場附近で、ひろく之れは Coon Butte として知られてゐる。形は略々圓形で、直徑4000呎(即ち1200米)。周壁は附近の土地より150呎(46米)高い、孔の深さは600呎(180米)である。隕石落下の年代は不明。

〔2〕 露國 Siberia のトムスク市附近、1908年6月30日に落下したもので、Winnecke 彗星からのものとも言はれてゐる。孔の直徑45米、深さ3.7米、光輝や音響は地震計や氣壓計にも感じた。F. R. Moulton 博士の計算では、隕石は重さ約300,000噸、はね飛ばされた土壤は400,000,000噸。

〔3〕 米國 Texas 州 Odessa 市に近く、1921年に發見されたもの、直徑500呎(150米)、附近に隕鐵片多し。

〔4〕 歐洲 Estonia 海岸沖合の Oesel 島に同様なものあり、最大孔の直徑は100米。

〔5〕 中央濠洲 Henbury 市附近、俗に Devil's Punch Bowl と呼ばれる所、1931年に Adelaide 大學の A. R. Alderman 氏と F. L. Winzor 氏とが踏破した。半哩平方の面積内に13個の隕石孔があり、直徑は10米から220米まで種々、近傍に隕鐵片多し。

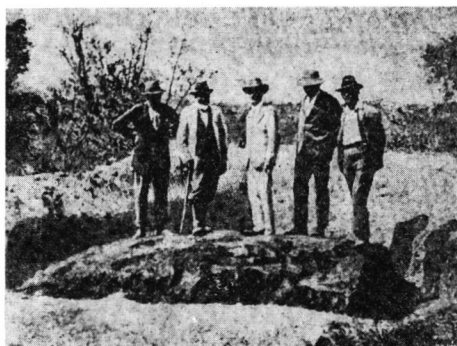
〔6〕 中央 Asia の Afghanistan 境界に近い Pamir 地方にある。

〔7〕 南米 Chili 國內の沙漠中にある。

〔8〕 Arabia の南部大沙漠中に大隕石孔らしきもの2個

あり、H. St. John Philby 氏の旅行記にあり。土民の口碑によれば、古昔、一市街が天よりの火にて焼けたとのことである。

〔9〕 米國東岸 Carolina 州に於いて Melton, Schriever 兩教授が飛行寫眞で發見し、1932年 A.A.A.S. 總會で發表せしもの。



西南アフリカにある世界最大の隕石